

2019 年 8 月 19 日

インド国営石油会社との間で プロピレンオキサイド製造技術のライセンス契約を締結

住友化学は、このたび、インドのバーラト・ペトロリウム社（以下、「BPCL」）との間で、同社が進める石油化学プロジェクトに対するプロピレンオキサイド（PO）製造技術のライセンス契約を締結いたしました。

インドの大手国営石油会社である BPCL は、国内 4 カ所の工場に合わせて日量約 84 万バレルの原油精製能力を有しています。現在、ケララ州コチにある製油所で、PO およびポリオール生産設備の新設を含む大規模な石油化学プロジェクトを推進しており、PO 生産においては、住友化学が独自に開発した製造技術の採用を決定しました。生産能力は年産 30 万トンで、2022 年の完成を目指し、今後、基本設計および詳細設計を進めていく計画です。

住友化学の PO 製造技術は、当社が世界で初めて工業化に成功したクメンを循環利用するクメン法 PO 単産プロセスです。併産物がなく、独自に開発した高性能なエポキシ化触媒と組み合わせることで、高収率と省エネ、高い運転安定性を実現できるという特長があります。当社の千葉工場やサウジアラビアのペトロ・ラービグ社で運転実績があるほか、韓国 S-OIL 社に対しライセンスを実施した年産 30 万トンのプラントが 2018 年に操業を開始しています。また、タイ PTT グローバルケミカル社の子会社に対してライセンスを実施した年産 20 万トンのプラントも、2020 年の完成へ向け建設が進められています。

住友化学は、今後も技術ライセンスのグローバル展開により、石油化学部門における事業ポートフォリオの拡充を目指すとともに、長年の経験で培ってきた技術のライセンスを通じて世界の石油化学産業の発展や課題解決に貢献してまいります。

以上

<BPCL の概要>

会社名 : Bharat Petroleum Corporation Limited
本社 : インド共和国マハラシュトラ州ムンバイ
設立 : 1952 年 11 月
会長 : Shri. D. Rajkumar
主な株主 : インド政府 53.29%